

ハイライト
異文化体験型ユースキャンプ
第2回 じゃむきゃん

No.247
Sep. 2024

宣教レポート

近況&祈禱課題

インフォメーション



集合写真



ゲームでお互い仲良く



オープンナイトにて



一つとされる

インドネシア 高橋央也・恵



ジャカルタに派遣されて1年が経過しました。支えてくださった皆様のお祈りに感謝します。1年を終える頃には随分と慣れてきたように思っていたのですが、最近の1か月においてもいまだに、思いもよらない出来事が起こっています。私たちは年明けから、これまでの恵の就労ビザから宗教指導者ビザへの切り替えを進め、書類提出もすべて終わっていました。「あとは一時出国すれば完了する」という代理人からの情報もあり、「準備は整った」と思っていました。ところが、出国3日前に央也が Dengue 熱を発症。しかも1週間の入院中にビザが切れ、オーバーステイの状況に。礼拝メッセージは恵が取り次ぎ、オーバーステイの罰金も教会に負担していただき、何とか一時出国にまでこぎつけましたが、出国先で「ビザがまだ下りない」という驚きの報告。6月に政府のサーバーがハッキングされ、私

たちの申請手続きが閲覧できない状態になっていたそうです。そのため、この原稿を書いている7月31日現在も私たちは観光ビザで滞在中です。この状況に戸惑いつつも、感謝なことに、私たちが再入国するまで JJCF では毎晩、祈禱会が開かれました。主はその祈りの中で一人ひとりに語られ、これは神様のご計画との一致を与えてくださいました。

暗闇を支配する者が諦めさせようと、あらゆる手段で妨害してきます。しかし困難の中にあっても切なる信仰をもって祈り求める者に確かに答えてくださる主が聖徒と共におられます。主権は主にあります。央也の Dengue 熱も後遺症が少なく済みそうですし、8月第2週にビザ取得に再チャレンジの予定です。(央也)【事務局註:8月23日までにお二人のビザが下り、ジャカルタに戻られました。皆様のお祈りに感謝いたします。】



原点に立ち返って

インドネシア R・K



ハレルヤ！主に感謝し、御名を褒め称えます。

ビザの再取得のために5月初旬から8月中旬まで一時帰国していました。その間の7月、アンテオケ宣教会のリトリートに参加することができました。結祈やオンラインでしかお目にかかることができなかつた方々と直接お会いすることができ、それぞれの救いと献身の証を聞き、また主にある交わりの中で、神様から多くの励ましや慰めをいただく恵みの時間となりました。ご準備くださった事務局の方々や支えてくださったボランティアの方々から感謝いたします。中でも大田伯子先生がおっしゃった言葉が今も耳に残ります。「私たちが宣教地で頑張って働いたと思っているけれど、その何十万倍も神様はそのために働いてくださっているんですよ。」先を急ごうとされるイエス様の後について行きたい、向こう岸に渡ろうと

私を招いてくださるイエス様と一緒に行きたい。しかし、イエス様が共におられても見えないエマオ途上の弟子が思い浮かび、それは私の姿であると思われました。

もう一つ、この帰国中に主に教えられたことは、救いと召命を何度でも握り直すことの大切さでした。そして、私は「教会から遣わされている、世界宣教は教会の業」の再確認でした。帰国中、いくつかの教会にデピュテーションに行かせていただきましたが、まだ宣教2年しか経っていない拙い私の宣教報告でも、熱心に耳を傾けてくださり、祈ってくださる聖徒の皆さんと出会いを通じて、世界宣教が主の御心であることを知りました。教会の祈りによって前進する世界宣教は、何よりも教会にとっての祝福であり、それが全世界に命の水となって流れて出て行くイエズス書47章に書かれてある通りでした。



イエス・キリストの愛と救いを伝えるために

派遣待機中 岡本告・涼子



初めに自己紹介させていただきます。私たちは邦人宣教への召しを与えられ、かつてカナダの日系人教会で奉仕した経験があります。現在は、海外にいる日本人に伝道すべく、再び遣わされることを願って、神様の導きを祈り求めています。

ご存じのように、日本人は日本では親族、学校の友人、職場の同僚、地域の人間関係の「しがらみ」があって、なかなか教会に足を運びづらい現実があります。しかし一旦海外へ出ると、そうした「しがらみ」から解放され、誘えば簡単に教会に来てくださいます。毎年海外で救われる日本人は多く、その中には献身して牧師になる方も少なくありません。旧統一教会問題もあり、日本では宗教、特にキリスト教に対する偏見が強まっているように感じられます。日本社会や文化から離れたところでイエス・キリストの愛と救いの福音に触れることができる海外

邦人伝道の重要性は、ますます強まっていると言えるでしょう。

主の恵みと皆様のお祈りにより、この秋から冬にかけて2つの国で短期の邦人宣教奉仕に招かれています。奉仕が祝福され、主にある兄弟の信仰の励ましと、まだ主を信じていない人々の救いのために用いられるように、そして今後長期的な奉仕に導かれるように、ぜひ、お祈りをよろしくお願いいたします。

今年初めからインターネット宣教も行っています。21世紀に出現した「デジタル大陸」への宣教の必要性が叫ばれて久しいですが、例えば「イエス・キリスト」を Google 検索しても、上位は Wikipedia や異端のウェブサイトが占めるという残念な現実があります。6大陸に実際に行く宣教師と共に、自宅から「デジタル大陸」で福音を伝える宣教師がさらに必要だと感じています。(告)

近況 & 祈禱課題

アルゼンチン 在原繁・津紀子

- ・ピライ教会開拓伝道は1年を過ぎました。小規模ながら会堂建設を推進中です。これより内外装工事に入ります。必要が満たされ、工事が進むように。
- ・国内全土の治安悪化が懸念されています。教会が盗難から守られるように。

モンゴル 高橋真一・千恵美

- ・9月にバギー師は TX 教会の主任牧師に就任、オヒオ師からパトントンタッチします。その前にご家族を日本にお招きし、日本

でのご奉仕と宣教支援チャリティが祝福され感謝！

- ・8月17～24日、日本から短期アウトリーチチーム(9名)をウランバートルとカラコルムに派遣、活動が祝福されました。

北フランス 宮坂鉄也・ジャンネメ (協力宣教師)

- ・7月のKBI訪問や、アンテオケのリトリートを通して主から素晴らしい出会いが与えられました。そこから生まれた友情が世界宣教のための繋がり、励み、刺激と

なりますように。・KBIの学生や若い日本の世代が、新たな宣教師(フランスも含めて)として主によって召され、準備されますように。

台湾 高井ハラー由紀 (協力宣教師)

- ・2023年度が無事に終了し感謝。
- ・夏休み中、日本で家族と良い時間を過ごせるように、また奉仕(礼拝説教、志学会リトリート講演)や学会発表が守られるように。

- ・TICCのリトリート(8/30～9/1)が祝されるように。政府による台南神学院の評価訪問審査(11/18～19)のため。

インドネシア 今西勇太・茉莉 (協力宣教師)

- ・インドネシアに家族で赴任し10ヶ月、子どもたち(4歳と2歳)が適応してきていることに感謝。7月末開催の English Camp を通して、未信者との関係作り・福音伝道の機会が与えられるように。東ジャワの8つの教会合同のユー

スミニストリーの建て上げと、ユース世代の信仰の成長のために。

宣教支援広告

クリスマスや誕生日プレゼント 受洗祝い・引き出物・内祝い 返礼品・出産祝いにも！

クリスマスチャンメドのギフトカタログ
TALENT
https://gifttalent.com/

カタログ サンプル

お問い合わせ ☎ 042-660-0701 / info@hakobunebin.com

アンテオケ宣教会主催 第2回 じゃむきゃん

8月22日(木)～24日(土)、奈良県生駒市にある関西聖書学院をお借りし、アンテオケ宣教会主催第二回ユースキャンプ「じゃむきゃん」が開催されました。今回は高校生以上、20代後半までが対象でした。日本から世界へ宣教師を派遣する宣教団体として、キャンプを通して次世代たちに何を提供出来るかを、宣教師、理事、主事で構成された準備委員たちは考え準備を進めてきました。キャンプ期間中は携帯電話を預かりし、プログラム、神様と参加者同士の生きた交わりに集中してもらいました。また宣教師が現地へ赴任した際に経験する様々な課題(言葉や電

気、水などのインフラ問題等々)の一端を実際に体験するようにしました。集会では多くのキャンパーが、ひざまずき涙を流しながら主に従う決心をし、さらに宣教師への召しを受け取る方、宣教師を支える側として歩む決心をされる方もいました。主の招きに従おうとする彼らの姿から、世界宣教、日本宣教に希望を感じました。来年以降も主の導きと状況が整いましたら開催致します。覚えてお祈り下さい。最後に、じゃむきゃんのために多くの方々ボランティアでご奉仕下さいました。心から感謝申し上げます。(理事・大喜多勝利)



主の前に進み出て

手を取り合ってお互いに祈る



ニワトリの解体を通して
キリストの犠牲を覚えての聖餐式



朝食前、宣教師を覚えてお祈り



日本語禁止でグループ活動



アフリカ料理



ニワトリの解体



ニワトリの羽をむしる



二日目の集会での祈り

ギデオンは自分の力を誇らないように、主を忘れないように、軍を減らされた。私も宣教の働きで、自分の能力を誇っていたところがあって悔い改めたい。(F・Y)

主の聖霊の働きなくして宣教は始まらない。そのために主が私をください、整え、備えてくださっていると実感することができました。(N・S)

“セラTime”でただただ主の前に静まり、ただただ黙っていたら、本当に主の御心を求めていくのであれば自分の思いや願うものを一旦置いて、心の中を白紙にする必要があると思わされた。(H・M)

宣教師でも牧師でもなんでも呼ばれたら行きます。どこへでも呼ばれたら行きます。自分はいよいよイエスさまの愛を知ったから自分の生きがいは主に仕えることしかない。(M・K)

心の底から、神さまをまだ知らない人、聞いた事もない人々に福音を伝えるにいきたくです！(I・M)

僕にできることって神さまがしっかり準備してくれているのだなと心に響きました。(T・H)

宣教の働きにおいて、それぞれに任された領域があり、神さまのビジョンがある。そのことを受けとったとき、支える側の働きが尊いもので、必要不可欠であることを確かに感じました。(S・T)

行かない理由、行けない理由はたくさん見つかるけど、だからこそ、主のわざでしか行けない。主が開いてくださらなければ進めないの、ハレルヤ！(K・A)

私たちが「覚悟」を持って「愛」を持って隣人に向き合い続ける。神を通してなら可能。(I・A)

今後の人生はまだ右も左もわからないが、ただイエスさまのようにイエスさまと一緒に大海原を歩きたい。(G・M)

身の周りのものを今、捧げることができないのだったら、宣教にも行けないなと思って、捧げることが実行にうつすというチャレンジが与えられました。(Y・T)

どんな方法かはわからないし、どこへかかわからないけど、主が必要としてくださり、主のご計画のためにもちいてくださるなら、この思いを受け取り、導いてください。(T・H)

同世代で宣教の思いを持っている人がこんなにいることにとても励まされた。みんなとこれから日本、世界宣教を共に担っていただけることにとてもワクワクしました。(H・H)

はっきりと献身したいという思いが与えられました。今まで神さまに喜ばれる働きをしたいという漠然とした思いはありましたが、こんなに強く願ったのは初めてです。(T・R)

私も送り出す側だけではなく、やっぱり外に出たいと思いました。ネパールにも行きたい、日本の教会が少ない県や島にも行きたい。その前に神さまを毎日礼拝したい。(K・H)

今自分の持っている賜物を自分でどう使おうかと、自分の力で解決しようとするのではなく、いったんその賜物を神さまにゆだねて「あなたのご計画にお任せください」と祈り、決心した。(D・P)

本当に頼れるものが神さまだけな生き方をしたいと感じ、神さまに全てゆだねる人生、自分には希望はないけれど、だからこそイエスさまに助けられ主を信じる人生を歩みたい。(Y・K)

近況 & 祈禱課題

タイ 新納真司・玉皇
(協力宣教師)

- ・本帰国をする1家族のために。献身の思いが与えられ、来年4月に神学校に入る予定。そのための備えと準備のために。お子さん(小学3年生)の環境適応のために。
- ・10月に絵本作家(岩佐めぐみさん)を招いてのイベントのために。

タンザニア(日本ベース)
安川圭吾・美穂

- ・DIC教会(タンザニア)のハニット牧師と信徒が守られ、宣教が前進するように。
- ・日本における今後の働きの方向性を主が示し、導いてくださるように。

・子供たちの適応と圭吾の両親の癒しのために。

国内 国際教会牧会 宇井英樹・由美

- ・教会の歩みを主が祝福してくださるように。メンバーが御霊により一致し、主の証人として、周りの人々に届いていくことができるように。新しい人々が加えられるように。
- ・スモールグループが祝福され、一人一人がしっかり主に結びつき、教会にも結びついて、成長できるように。
- ・10月13日の音楽伝道礼拝のために。(ゲスト、Kuzuhaさん)。



地の塩・世の光として送り出す

要配慮国 ちえ



皆様のお祈りを感謝いたします。民主主義国に数えられているこの国は、多文化、多言語そして多宗教の国としても知られていますが、現実的には人口の80%以上は、一つの宗教を信仰しています。そのため、異教徒への迫害も厳しく、改宗も容易ではありません。しかし、主の目はこの国の民にも注がれています。そして、神は救われる人々を起こしていかれます。一人またひとりと救われた人々を救いの証人として全地に遣わしてくださっています。教会の無い村々へも福音の種子を蒔くために言語や文化の違いに対応できる現地の人々を送り出すことは、この国には必要な宣教の一つの形でもあります。

宣教師の働きは様々ですが、私に与えられている重荷は、希望を失っている人々の隣人となることです。現実的に生と死を目の当たりにしなければならないこの国においては、福音以外

に希望がないことを確信させられています。「人にはできないが、神にはできる。」このみことばの証人として、この国のスラムに住む人々の中に置かれていることを感謝します。そして、この国を覚えてお祈り祈りくださっている皆様にこれまで支えられてきたことも心から感謝します。

広大なこの国では、既に一人の現地キリスト者を用いて20万人の教会員が集う大きな教会も起こされています。人の思いを遥かに超えたことを成し遂げる神の御業を心から褒め称えます。偶像が溢れるこの国の暗闇にキリストの光が輝いて、人々の霊の目が開かれますように。そして、キリストこそが私の神であると告白する人々が増し加えられていきますように。



祈りの答え

要配慮国 みか



いつもお祈りくださりありがとうございます。これまで「みかさんの祈禱課題」として短く載せていただいておりますが、誌面のリニューアルに伴い、以前のように原稿を書かせていただくスタイルに戻りました。働きの性質上、すべてを書くことは叶いませんが、少しでも詳しく現地の様子をお届けできたらと願っています。これからもよろしくお願いいたします。

先日、仲間たちと一緒に「祈りの強化週間」ということで、1週間祈りと断食を持って私たちが住んでいる地域のために祈る時を持ちました。彼らが暗闇の勢力の影響から解放され、彼らの心がイエスさまの福音を受け入れることができるように。私たちが出会うべき人と出会い、福音を伝えることができるように。クリスチャンが聖霊様の力によって強められるように。等々、祈ることはたくさんあります。祈りの仲間と共に輪に

なあって座り、賛美し、み言葉を分かち合うなかで、その場所にイエス様も共に座ってくださっているように感じる濃密な時間を過ごしました。霊的な行き詰まりを突破するのは祈りの力です。主はご自身の前に捧げられた祈りを覚え答えてくださる方です。私たちはここ何年も、A族のために重荷を持って奉仕してくれる働き人が与えられるように祈ってきましたが、今年に入ってもうすでに4ユニットの同労者たちが与えられました。驚きましたが、これは祈りに答えて主が送ってくださったことと感謝しています！「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主は、収穫のために働き手を送ってくださるよう祈りなさい。」(マタイの福音書 9:37、38)

ここからさらに主がどのような御業を見せてくださるのか、楽しみにしています！

宣教師フォト



ピライ教会での特別集会

アルゼンチン・在原宣教師



朴宣教師 70 歳のお祝い

韓国・朴宣教師

近況 & 祈禱課題

ドイツ 井野葉由美

- ・オンライン・バイブルスタディ、新コースの祝福のために。
- ・ミュンヘン日本語教会が宣教に開かれていくように。

韓国 長澤久美子

- ・長らくカトリック教会に通われたらう者、崔さん夫妻がまた江華教会に来るように。
- ・長男ヤコブさんの信仰が確かなものとなりますように。

- ・三男ヨハン伝道師の奉仕、日本語での YouTube 礼拝の準備と英語での修士の学びのために。
- ・カナダにいる孫のソノ君が幼稚園生活に慣れるように。

韓国 朴ダニエル・任妍貞

- ・6月に移転した新しい白馬会堂が祝福されますように。
- ・教会会計が祝福され、必要が満たされますように。
- ・JBA 宣教師訓練・大阪トリップが引き続き

き祝福されますように。

ベルギー 川上寧・真咲
(協力宣教師)

- ・経済的な必要が満たされるために、継続して働くことができる相応しい仕事を与えられますように。また支援会を設立するために必要な知恵と導きを与えられますように。

インドネシア 浅井俊貴・ひかり
(協力宣教師)

- ・7月から学校の新年度が始まりました。

生徒や同僚一人ひとり、そして共同体のニーズを把握し、キリストにある一致をもって霊的な土台を据えることができるように。

宣教支援広告

漢方の十字屋平蔵薬局

TEL 042-438-8482 または HP にて要予約
東京都西東京市ひばりが丘北 3-5-22
西武池袋線ひばりが丘駅北口徒歩一分

インフォメーション

献金芳名リスト・教会および団体

アルゼンチン宣教を支える会 (4) 泉佐野福音一麦東京 井野師を支える会 (3) 宇井師を支える会 (3) 上田教会 浦和福音 (3) 大磯キリスト (3) 大野キリスト 岡本師を支える会 (2) 桶川聖書 可児福音 片柳福音自由 (4) カナン・プレイズ・チャーチ 京都シオンの丘 (2) キリストの栄光 久米麗を支える会 (3) クリスマンフェローシップチャーチ 神戸希望を支える会 (2) 郡山キリスト (4) ゴスペルチャーチ千里 御殿場純福音 堺福音 堺福音岡山チャペル 桜台恵み平安キリスト 札幌福音館 JEC 海外宣教委員会 JEC 総合宣教ジョイチャペル 鈴鹿キリスト福音 (3) 高石聖書 高橋央也・恵と共に歩む会 (3) 高松シオン (3) 多摩川キリスト 垂水 (3) タンザニアミッション (3) 千代田福音 土崎グロリア 東栄福音 (2) 東京若枝 (3) 東洋ローア 名古屋一麦 奈良福音 日本イエス教団事務所 (3) 朴師を支える会 (3) 平塚福音 プラトナの会 (3) 本郷台 (3) 丸亀聖書 未伝地ミッションを支える会 (3) 森福音グリーンチャペル (2) モンゴルミッション ジャパン 八尾福音北九州チャペル 大和キリスト (3) 結城リバイバルチャペル ライフリパーチャーチ浜北

支える会交流会のご案内

●久しぶりに支える会交流会を開催しますので、奮ってご参加ください。

日程：① 10月18日 (金)

② 10月22日 (火)

時間：いずれも午前10時から午後2時頃まで

場所：①関西聖書学院 (KBI)

②お茶の水クリスチャンセンター

(411号室)

費用：交通費等をご負担ください。

* 昼食を当方に用意しますので、参加人数を事務局までお知らせください。

(締め切り：9月末)

* 当日は対面のほか Zoom でもご参加いただけますので、対面参加が難しい方はご連絡ください。

* 申し込み、問い合わせ先：

Jimukyoku@jantiochm1977.net

または、03-5577-7035 高山まで。

献金芳名リスト・個人

安海靖郎・通子 新江雅宏・裕子 在原繁 石川秀和・里恵子 井上孝雄 井上隆之 井野葉由美 井原敬二 岩井輝子 (2) 後山慎治 江川信千代 遠藤優子 大皿恭子 甲斐博 (3) 川上寧・真咲 (2) 菅野昭子 栗山伸子 小林宮子 城山直子 砂谷 高井ヘラー由紀 (3) 高山嘉津子 (2) 中奥龍子 拜高真紀夫 林正敏 原國聖恵 福澤圭子 福本和代 星出卓也・薫 (3) 本田義廣 ホンダヨシフミ・ヨウコ 正田早苗 三浦岸雄 (3) 森川桂造 山下祐弘 (3) 山田初子 リンスコット・ジェフリー 匿名 (7名)
(教会・団体・個人 計161件)

事務局からのお願い

ご献金のお振込みには、所定の赤色の払込取扱票か、「ゆうちょダイレクト」をご利用ください。

二組の宣教師が事務所に来られました

● 7月19日、北フランスで宣教をなさっている、宮坂鉄也・ジャンネメ師ご夫妻が来られ、現在の状況やこれからのビジョンなどについてお伺いすることができました。フランスと言えば元々カトリックの国というイメージが強いですが、あまり宗教に関心を持たない国民が多いと聞き、意外に思いました。そのなかで一人でも多くの人に福音を伝えようと先生方は日々奮闘しておられます。当日はご夫妻の3人の息子さんに加え、宮坂先生のお母様も来られ、賑やかな交わりの場となりました。ご一家は8月13日にフランスへ戻られました。



宮坂宣教師ご一家と

オンライン献金

利便性のために、これまでの献金あて先の他に、オンライン献金を始めました。ご利用いただける方は、こちらのQRコードからご利用ください。



アンテオケ宣教会の口座情報

● ゆうちょ銀行

00170-4-10379

● 三菱UFJ銀行

池袋東口支店 (普通) 1068695

● そしてもう一組、7月23日にはインドネシアに派遣されているK宣教師が来てくださいました。K宣教師はすでに同国に派遣されている別の宣教師のお子さんたちの、特に日本語教育のための教育宣教師というとても大切なお働きをなさっています。現在ではTCK (Third Culture Kids) と呼ばれる宣教師子女にはこれまであまり目が向けられることはありませんでしたが、最近ではその重要性が見直されつつあります。K宣教師はそこに着目され、これを神様からの召しと捉えて頑張っておられます。こちらも同じ8月13日に任地に戻られました。



K宣教師と

なお、高山事務局長は7月初めに足を怪我し、両日とも自宅療養中でした。(8月9日に職場復帰しました。)



アンテオケ宣教会

〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル203号

TEL: 03-5577-7035 E-mail: jimukyoku@jantiochm1977.net

ウェブサイト jantiochm1977.net 郵便振替 00170-4-10379



公式サイト
& SNS

